



# INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：伊澤和男 副会長：小川秋實 幹事：宮澤友浩



2016-2017 国際ロータリーのテーマ  
**人類に奉仕するロータリー**  
 ROTARY SERVING HUMANITY

2016-2017 RI会長  
 ジョン F. ジャーム  
 米国(テネシー州)



## 第1388回例会 平成29年2月7日(火)

■ 点 鐘

12:30

■ ソング

君が代・奉仕の理想・四つのテスト 平澤理ソングリーダー

■ 会長談話

伊澤和男会長



1月は寒かったですですが雪も降らず楽な日々でしたが、2月は早くに降りますね。昨年の今日は甲府への親睦旅行でした。また、本日は「長野の日」オリンピックメモリアルデーだそうで、J C北陸、信越地区で制定されたそうで、1998年、平成10年2月7日が開会式でした。観客144万2700人だったそうです。考えてみますとあっという間ですね。

節分も終わり、立春も過ぎましたがなかなか重い腰が上がらない毎日ですが、本日は昔人の年取の話を読紙、歴史人の中から。

江戸時代100俵=35石、1石=1両。江戸初期は1両=10万、江戸後期1両=1万。農家で収穫した2分の1が納税され、下臣達の取り分を取った後、殿様本人取り分は6分の1というのが当時の相場だそうで信長は700万石1750億、家康は400万石1000億、秀吉は555億、上杉は362億、武田は335億、黄門様は70億、三成は47億、真田昌幸は9.5億、大岡忠相は2.5億、長谷川平蔵は2.25億、大石内蔵助は3750万、市川団十郎は6000万、源頼朝は1.24億だそうです。

こうして経済力という観点から見るといろんなことを想像します。

明治になると龍馬は60万。びっくりですね。海舟は1.5億、西郷は1.2億、伊藤博文は1.0億、東郷平八郎は6000万、山本五十六は3300万、近藤勇は600万、東条英機は4800万だそうです、思いはさらに複雑になります。

各人が持つ使命感はそれぞれに違いがありますが、早く暖かい春が来ることを望むばかりの今日此頃です。

■ 委嘱状伝達式

国際ロータリー第2600地区2017-2018年度地区委員会委員委嘱状の伝達

- ・会員増強委員会 委員 池田幸平会員
- ・インターアクト委員会 委員 矢野昌史会員
- ・R財団委員会資金推進小委員会 委員 中川博夫会員



## ■ 慶 祝 2月誕生日祝い

- ・田中洋会員
- ・平澤理会員
- ・水谷今朝弘会員
- ・原一馬会員



## ■ ニコニコボックス

- ◆伊澤和男
- ◆井上修

節分も立春も過ぎましたが、また冬がやって来ました。そろそろ春が待ち遠しくなりました。30周年の記念講演会では、我社の会場をお使い頂きありがとうございました。当日は駐車場係をかって出ましたが、鬼のかくらん、なんと風邪をひき休んでしまいました。申し訳ありませんでした。

- ◆井上修

この日曜日、午後から大雪で家の周りに向こう三軒両隣、雪かきをしていましたら海老屋さんのマイクロがさっそうと通り過ぎました。凜とされた鈴木運転手さんに思わず手を振ってました。

- ◆田中洋

人並みに風邪をひきました。熱が出たり喉が痛かったり4日間も寝てました。記憶にある限り、50～60年ぶりの珍事でした。

- ◆唐澤稔

久しぶりに雪が降り雪かきをしたら足腰にガタが来ました。運動不足、年を感じます。

- ◆唐澤千明

先日4・5日と伊那バスグループ謝恩旅行に行って来ました。千葉房総は既に桜が満開でした。伊那は9cmの積雪で大変な違いでした。早く春が来て欲しいものです。

## ■ 幹事報告 宮澤友浩幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

## ■ 委員会報告

### ・2017-2018年度地区補助金事業のプロジェクト内容について報告 小向誠一次期ロータリー財団委員長



プロジェクト名：長野県伊那養護学校PTA教育助成

教材名：フラップリン

〔効果〕身体バランスの習得・集中力の向上・忍耐力の習得・耐久力の向上・連帯感の習得 等

### ・2月3日（金）まつりプロジェクトチーム会議の報告が三澤耕太会員よりありました。



### ・2月6（月）30周年総務委員会の報告 中川博夫総務委員長



2月6日、事務所にて総務委員会を開催。周年事業の全体と総務委員会の役割について全員で確認。委員会メンバーはもとより、全メンバーのご協力がなければ当初目的の完遂はできませんので、皆様のご協力をお願いします。

### ・青少年奉仕委員会よりお知らせ 唐澤稔青少年奉仕副委員長



① 3月1日（水）伊那西IAC特別例会（3年生送別会）の案内をいただきました。委員の皆様ご参加の上、3年生に激励の言葉をお願い致します。

② IAC顧問の伊藤先生がご結婚されました。おめでとうございます。

③ 「書き損じハガキの回収」を伊那西IACも運動していましたが、今年は420枚と大変多くの枚数を回収してくれました。今年は回収期間を1週間と区切りを設けたのが良かったと思います。

## ・「ロータリーの友」2月号紹介 中川博夫会員



### 横組み

P2：右上に、RI指定記事とあります。ロータリーを紹介する雑誌としては、世界中に30種以上あり、その一つが『ロータリーの友』です。ですから、RIが全ロータリアンに伝えたい事を「The Rotarian」の記事から選んだものですから読まなくてはなりません。今月号は、世界をよりよい場所に変えていくのがロータリーの役割だとRI会長

が語っています。

P8～P10：「合併・・・その後」のタイトルで、会員減少に伴う最後通牒を突きつけられ、合併を余儀なくされたクラブの実例が載っています。P9に、未来志向の発展的解消であっても一時の平穏でしかない。奉仕はロータリーだけのものではない。阪神淡路大震災以降、ボランティアが活躍する世の中に変わりつつある。と述べています。

P11～P19：各クラブの活動報告を載せています。今月号はポリオ撲滅への募金活動が目立ちました。奉仕はロータリーだけのものではない、一般住民にも活動に参加できる道を作らなければ、ロータリーを正しく理解していただくことなどできないし、大きな運動に発展しないのだろうなと思いました。「合併・・・」とあわせて読むと、ロータリーの現実が分かります。

P22～P26：「日本のロータリーが100年を迎えるに当たって」は熟読願います。時代に沿ったロータリーの変革、組織単年度制の弊害と改善など、前回の例会で話し合った細則についての考え方が理解できます。

### 縦組み

P4～P7：曹洞宗住職の法話が載っています。「見返りを求めない奉仕は長続きしない」という意見も理解できますが、P7に「喜ばれる悦び」として、人に何かプレゼントをして相手の人に喜ばれるのが「喜び」。与えた人はその笑顔、喜んでくれる相手の喜びを感じてもっとうれしい、もっと大きな喜びを感じることができます。とあります。要は豊かな感性を持つということでしょうか？

雑誌を読むことによりロータリーの知識を得て、具体的に奉仕活動を推進する知恵を学んでください。

## ■ 出席報告

会員数42名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者29名 事前メイク1名  
出席率83.33% 前回出席率 修正なし

## ■ 会員卓話

### 原俊和会員

#### テーマ：「県民性の統計学」



全国47都道府県・77エリアのビジネスマン男女3,092人のアンケート調査をもとにプレジデント誌がまとめた「県民性」をもとに、

- ①職場における好かれる上司・部下、嫌われる上司・部下の県民性、
- ②全国各都道府県の県民性の特徴、
- ③長野県、北信、南信エリアの県民性の特徴

について報告を行った。

## ■ 理事会報告

### 宮澤友浩幹事



1. 「姉妹クラブ募集の案内」について
2. 「RIJYECを多地区合同奉仕活動であることを承認する件」について
3. I.M.会員セミナーでの意見発表者の選出について
4. 2017-2018年度地区補助金事業について
5. 橋場会員「旭日双光章」受賞祝賀会の開催について
6. 2月の行事予定並びにメイクアップ扱いについて
7. 新会員の推薦について
8. その他

## ■ 点 鐘

13:30

### 次回例会

2月14日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店  
クラブフォーラム「国際奉仕委員会」支援留学生卓話